



一般社団法人 福井県中小企業診断士協会

診断ふくい 第35号

<2020年6月発行>

〒910-0296 坂井市丸岡町熊堂 3-7-1-16 福井県産業情報センタービル内 TEL:0776-67-7447 FAX:0776-67-7429
ホームページ: <http://www.sindan-fukui.jp/> Eメール: info@sindan-fukui.jp

新たな体制でリスタートします

5月開催の総会後の理事会において会長に選任されました竹川です。会員の皆様、関係機関の皆様に改めましてご挨拶申し上げます。

<企業を取り巻く環境>

さて、県内でも新型コロナウイルス感染症の影響が3ヶ月以上続き、6月に入りようやく経済活動も徐々に再開されたと感じています。しかしながら、同時に今後の様相については予断を許さないとも感じています。県内企業においても、影響を受けた事業所が多数あり、緊急融資や給付金、助成金などにより急場をしのぐ対応で奮闘されている会員も多いと思いますが、本番はこれからで、資金繰りの相談や、より事業の本質に立ち返った助言を求められると思います。リモートワークなどの新しい働き方、飲食店におけるテイクアウトや詰め込まない店舗運営など、コロナ前とは違った新しいビジネススタイルへの変更を余儀なくされる事業も増え、益々中小企業診断士への期待が高まります。

<新体制>

今年度は、内部固めやスキルアップに力を入れていきたいと思っています。津田前会長は、会員間のコミュニケーションや受託事業などによる収益改善に尽力され今日の協会をつくってこられました。こうしたベースは押さえたうえで、事業受託の内容に関してレベルアップを図っていきます。また、コンプライアンスの強化も図ります。そのためにも、会員全員が中小企業診断士としての信頼を高めていただきたい。

会長 竹川 充

会員の皆様には委員会活動にも積極的に参加して頂きたいと思えます。企業内診断士の方も委員会活動により、人脈を増やす以上の効果になると思えます。委員長・副委員長の理事の方々もよろしくお願いいたします。



また、今年度に入会された会員が5名いらっしゃいます。診断士になりたての会員や若い会員の意見も聞きたいと思えます。私は会長として協会を代表していますが、主役は会員お一人お一人だと思っています。

<最後に>

産業界・経済界においては厳しい状況はしばらく続くものと思われませんが、私達中小企業診断士が、県内企業に希望をもたらす存在となることをビジョンと掲げ、会員の皆さんと共に努力していきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。

《 副会長のご紹介 》



嵯岡 伸行



川嶋 正己

委員会活動報告

◆事業推進委員会



委員長 竹内 真一

前年度は、行政・金融機関・支援機関・企業等の定期的な訪問により、関連機関等の悩み・問題点を把握し、これを解決する企画を

提案する「ソリューション営業」を展開した結果、関連機関等から様々なご依頼を受け、会の総力を挙げてチーム支援や計画策定を実施しました。

本年度は、引き続き積極的に営業およびPR活動を実施するとともに、前年度より開始された「事例検討会」を継続的に開催し、更なる満足度の向上とスキルアップを目指します。

各方面からは、「専門の異なる複数の診断士に関わってもらうことで、相談することに安心感や期待感がある」、「同時にいろいろな角度からの意見が聞けてスピード感がある」という意見をいただいております。

今後は、多彩な専門分野・得意分野を有する中小企業診断士が所属し、豊富な事例とノウハウを有する「福井県中小企業診断士協会」の総力を結集し、様々な問題を解決していきたいと思っております。

◆実務講習・養成塾



佐々木 孝美

商工会・会議所の経営指導員向け事業の実務講習は、例年どおり受託を目指します。経営指導員のスキルアップとして、会員の皆

さまが講師となり、培ってきた知識やノウハウをお伝えいただけます。土日しか時間が取れない企

業内診断士にも配慮した、参加しやすいスケジュールとなっています。運営を一緒に考え、汗を流していただけるみなさまをお待ちしています。

養成塾は、中小企業診断士を目指す受験生が県内で勉強できる環境を提供します。勉強仲間がいることでモチベーションアップに、勉強をバックアップしてもらえ環境があることで安心感につながる運営をしていきたいと考えています。受講者を増やすべく広報にも力を入れ、中小企業診断士の認知度向上および当診断協会への入会者増加を目指します。

◆事業企画委員会



委員長 加藤 永俊

当委員会は、中小企業診断士の活動やスキルをアピールしていく役割を担っています。診断士の本業である中小企業の経営支援はも

ちろんのこと、「地方創生」や「まちづくり」でもその能力は発揮できることをお伝えするために、今年もシンポジウムを開催します。北陸新幹線福井開業（敦賀延伸）が眼前に迫る中で「観光の産業化」のためにどんな準備を進めなければならないかを考えていきます。

新しい時代の経営に不可欠な「SDGs経営」をご紹介するセミナーも予定し、同時に現代の大きなテーマである「女性活躍推進」に寄与するセミナーも開催いたします。

診断士の強みは「経営に関する知識」×「実践経験でのノウハウ」です。「観光」「女性活躍」などの「地方創生」の重点課題解決において、診断士の可能性を実感していただきたいと思っております。

◆実務開発委員会



委員長 谷川 俊太郎

実務開発委員会は実務従事ポイントを獲得することができる研修を主催します。実際の企業に訪問し、診断実務の経験を積んで頂きます。

実務従事ポイントを獲得することが困難な企業内診断士の方に参加しやすく、かつ実践的な研修を作っていきたいと思っています。

中小企業診断士協会として1人1人の診断士の能力の維持向上は不可欠です。特に現場実務は実際に経験を積まないと見えてこない部分も多くあります。実際の企業に訪問し、実務経験を積んで頂く研修で、現場実践に即対応できる人財を育てていきます。

◆総務・広報委員会



委員長 川端 利一

近年、国や県の事業で中小企業診断士への依頼は確実に増えています。県が5月から設置している新型コロナ対策フル活用の相談窓口で

は、中小企業診断士が毎日常時3名、交代で相談対応にあたっています。その他、経営改善や事業承継、観光産業化などでも中小企業診断士の活躍の場は広がっていますが、その一方で、公的な役割が増すにつれてコンプライアンスの一層の徹底も強く望まれているところでもあります。

総務委員会は、今年度より広報業務を含むこととなり、総務・広報委員会となりました。ビジョンに掲げる知名度向上とコンプライアンスの徹底の両方を前に進めるために、他の委員会と連携を取りながら活動していきます。

◆例会・研修委員会



委員長 松田 博史

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、従来のように積極的な例会・研修会の開催が難しいと考えています。しかし、このよう

な状況だからこそ診断士としてのスキル向上が中小企業の発展には必要不可欠だと考えます。例えばビデオ会議を活用するなどして、できる限り例会・研修会を開催したいと考えています。新型コロナウイルスに関する情報共有はもちろん、会員が発表できる場を設けることで知識だけではなく、コンサルスキルの向上にもつなげたいと考えています。

例会・研修会は協会内の取り組みにとどめず、外部の方にも参加頂いたり、オンライン配信にも挑戦したいと考えています。また、外部の方が診断士協会への情報発信や連携の場にも活用頂きたいと考えておりますので、是非お気軽にお声がけください。

◆資格更新委員会



委員長 寺川 直輝

本年も「理論政策更新研修」を9月5日（土）に開催いたします。

今年は、中小企業支援に必要な本県の支援施策に関

する研修内容に加え、コロナ新時代における新たな企業支援に関する内容も盛り込んだ研修を企画するつもりです。

例年同様多くの方にご参加いただき、かつご満足いただけるような理論政策更新研修となるよう、委員会一同知恵を絞って、汗もかいて、準備を進めさせていただきます。また、運営には多くの方のご協力が必要です。是非とも、当委員会へのご参加お待ちしております。

【理論政策更新研修 開催予定】

日時：令和2年9月5日（土）

8：50～13：00

会場：福井県産業情報センター

1階マルチホール（予定）

◆観光産業化研究会

委員長 峠岡伸行・川嶋正己

福井県中小企業診断士協会の観光産業化研究会では、令和元年度、敦賀市の観光活性化と産業化に向けた調査研究に取り組み、3月にその提案書を取りまとめました。

5月21日（木）には、当研究会の川嶋委員長が敦賀市の観光交流課の増田課長、西村係長を訪問し、提案書を手渡し内容の説明を行いました。

今回の提案書では、敦賀市の観光の魅力づくりの方向性と具体的な整備等の提案だけでなく、3年後に迫る北陸新幹線敦賀開業に向けて、若狭地域や滋賀県、京都府の玄関口としての機能強化の必要性についても強調しており、1時間に渡り、観光交流課の皆さんと意見交換を行いました。

増田課長からは「観光活性化は敦賀市にとって早急に取り組むべき課題であり、具体的な視点や提案をいただき、今後の取り組みに向けて参考としたい。市長にも報告し、今後、診断士協会との連携についても検討したい」とのお話をいただきました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症により活動が制限されますが、あわら市の観光産業化をテーマに取り上げて、研究活動を進めていきたいと考えておりますので、会員の皆様のご協力ご参加をお待ちしております。

◆事業承継研究会



委員長 坪川 光弘

平成30年度に立ち上げた事業承継研究会では、年間6回の研究会を通じて事業承継に関する知識の充実を図るとともに、福井県事業承継

ネットワークおよび福井県信用保証協会から受託する専門家派遣事業において専門家として派遣される中小企業診断士のスキルアップを行っています。

また今年度から新たに、『事業承継ネットワーク後継者育成塾（案）』ならびに福井県事業引継ぎ支援センター共催『スモールM&A研修会』も開催予定です。

当協会では、事業承継支援に関する中小企業診断士の役割として、

- ①事業承継計画の策定支援
- ②後継者の育成支援
- ③事業承継支援の関する土業専門家の
コーディネート支援
- ④第三者承継に関するマッチング支援
- ⑤事業承継に関する公的施策の活用促進

この5つを役割として、地域中小企業の事業承継を強力にサポートしています。この経営サポートのエキスパート集団である中小企業診断士を是非ご活用ください。

委員会および研究会への参加は随時受け付けていますので、ご希望の方は、協会事務局までお気軽にご連絡下さい。

協会活動の紹介

◆SDGs セミナー開催

事業企画委員会では、持続可能な開発目標（SDGs）に関連するセミナーとして、令和2年1月30日に JICA 北陸及び福井銀行との共催で、SDGs ビジネスセミナーと題したセミナーを実施し、約 80 名に参加頂きました。



持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標で、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されます。

今後、世界全体が取り組むべきテーマの一つの流れとなっており、今後のビジネス展開を考える上で避けて通れないテーマとなってきたことから、県内企業が取り組む先進事例2社の取組み内容を紹介し、SDGsが掲げる「つくる責任 つかう責任」や「気候変動に具体的な対策を」などの取組み事例を紹介しました。また、SDGsビジネスのヒントとして、ゼロから新しいことをやるのではなく、自社の技術や製品を活用し、途上国の課題解決に取り組んでいくことでビジネスが成立することや他にも JICA の支援メニューについて紹介しました。



◆女性セミナー開催

令和元年12月18日に、「輝く女性社長セミナー～女性診断士が選ぶ、今聞いてみたい話。ものづくり企業の女性社長奮闘記～」と題してセミナーを開催しました。

神戸市からお招きした講師の鯛かおる氏（株式会社アトラステクノサービス、代表取締役）は、食用油ろ過装置、真空フライ装置などの機械製造の会社を経営されています。その経歴は異色で、もとは事務員として勤務していた会社が経営危機に瀕した



時に、販売権、特許権を買い取って自ら経営に乗り出したことが転機をもたらしたとのこと。その後、組織変更、自社工場の設立を行い、事業を危機から回復させました。その経歴のみならず、BtoBからBtoCへの展開を図り、野菜、果物チップスの販売で人気を得るなど、ユニークな取り組みで、まさに輝いている女性社長です。

当日は、福井商工会議所において、約30名のご参加を頂きました。いろいろな業種の方のご参加がありましたが、特に女性起業家や、女性経営者の方が熱心に聞き入っており、「事業のヒントが得られた」「自社でも商品開発に取り組んでみたい」などの感想が寄せられました。

鯛氏からは商品の試食のご提供もいただき、新規事業で生み出されたストーリーを実感する場面となりました。和気あいあいとした雰囲気の中で、セミナーが進められました。第一線で活躍されている女

性社長の、苦労話もまじえた成功ストーリーに、頑張るパワーをもらったという声も聞かれました。福井県中小企業診断士協会の女性診断士3人で企画、準備を進めてきましたが、大変意義の深いセミナーとなりました。

◆実務ポイント対策研修

中小企業診断士資格の特徴として更新するためには座学の理論ポイントを取得するだけでなく、実務を実施したというポイントを取得しなければいけません。ここまで実務を重視している国家資格は他にあまり例がありません。実践を重視しているといえる一方、企業内で資格を保有しながら仕事に従事されている方などはそのポイントの取得をどうするか、頭を悩ませているものと思います。

福井県中小企業診断士協会では、中小企業診断士資格の更新要件である、実務ポイントを獲得できる研修を開催しています。具体的には当協会の診断士が指導員となり、実際の会社に赴き経営診断を行って頂きます。その結果を報告書にまとめ、会社に提示するという本格的な実践研修です。

昨年度の実務従事研修には1名参加され、指導診断士と共に、診断会社に赴き、経営者の方の話を聞き、会社の現場を見学して報告書を作成するという経営診断を実際にやって頂きました。昨年度参加された方も診断士資格を保有しながら企業内で活躍されている方で、実務ポイントを6ポイント取得することができています。

当協会の実務従事研修では、企業内でお仕事されていることを前提に平日の夜若しくは土日に時間を取り、参加しやすい配慮も行っています。せっかく取得した中小企業診断士の資格を活かさない手はありません。当協会の実務従事研修で実践的な経験を一緒に積みましょう。

新入会員紹介



小林 博樹

この度、入会させていただきました福井信用金庫の小林博樹です。福井市の東郷地区在住です。

平成18年に自分自身の知識・スキル等の向上、及びお客様の経営課題解決に資したい思いから資格取得しました。

今後も、"日々勉強"をモットーに、自己啓発は勿論、諸先輩方はじめ様々な人から学んでいくとともに、企業発展のため、地域活性化のために微力ながら頑張っていきたいと思えます。宜しく願い致します。



富田 和弥

令和2年5月に資格登録し、今回入会させていただきました富田和弥です。

生まれも育ちも坂井市です。自身の会社もそうですが、会社がゼロから大きくなっていくことが面白かったため、資格を取得しました。何も無いところから会社を立ち上げ、回していくには最初は特に大きなエネルギーが必要ですし、よくガス欠になったりしていい事ばかりではないと思いますが、それでもその成長を見られるという意味で診断士は魅力的だと思っています。

協会に入会し、諸先輩方、企業の方々と接し、多くのことを学んでいくことで自身の知見を深め、お客様のお役に立っていきたくと思っています。



アンサンブル経営サポート
野路 謙

今回入会させていただき
ました野路です。

永年政府系金融機関に勤め、業務に直結することから、資格取得は平成2年です。金融機関時代は、北は秋田から南は福岡まで、三大都市圏を含め全国14カ所転勤し、様々な経営課題に直面する中小企業・小規模企業者の方をみてきました。業務においては、主に融資畑で、縁あって、商工会議所の中小企業相談所への出向経験もあります。

今後は、“地域の笑顔のお手伝い”をモットーに、微力ではありますが、経験を生かし地元福井で頑張っていきたいと思っておりますので、皆さまよろしくお願いたします。

久田 高志



平成27年に資格取得し、第一回目の更新を迎えました。私自身は、学生の時から企業支援に携わる仕事をしたと思い、金沢市役所に入

りその後、大手通信会社にてネットショップのテクニカルサポート、コンサルティング等を行ってきました。

その経験を活かし、小松市内で石川県よろず支援拠点コーディネーターを4年やらせて頂き、多数のお客様と知り合う機会が持てました。小松市内にいた時から、南加賀の相談は福井とも密接な関係もあり、福井のお客様とも関係を持てればと思今回入会させて頂きました。色々至らない点はあるかもしれませんが、よろしくおねがいます。



ビッグボディ
コンサルティング
和田 裕行

令和2年に資格登録し、
入会させていただきました
和田裕行です。

資格取得のきっかけは、定年を少し早め福井での生活を始め、ふくい産業支援センターに今後の相談をした際、「中小企業診断士を目指してみませんか」と言われたことです。この言葉を言われるまでは「過去の経験をどのように生かせるか」だけを考えていましたが、「過去の経験だけでなく新しい知識・資格を持って未知なる世界へチャレンジする夢」を感じて、資格取得を目指しました。

今はまだ、知恵の引出も経験も不足しています。一日も早く、経験豊かな諸先輩方に学び、自己啓発でも知識を広め、依頼された案件には人の二倍、三倍の汗を流し、企業さまに寄り添い、経営課題解決の一助となれる診断士を目指します。

編 集 後 記

新型コロナウイルス感染症の影響により、協会の情報を直接発信できる場を設けるのが難しくなっています。このような状況だからこそ、広報紙やホームページによる情報発信を積極的に行っていけないといけないと感じています。今後は、ホームページをリニューアルして、鮮度の高い情報を発信できるようにしていく計画をしています。今後も福井県中小企業診断士協会の活動にご期待ください。



ホームページで
情報発信中！

